



グリーンクリエイティブいなべ Green Creative Inabe

住む人にとっては、当たり前すぎて見逃してしまいがちになる“まちの魅力”。いなべ市にも当たり前の暮らしの中に、市内外の人を魅了する資源がたくさんあります。今月号では、現在進行中の市の魅力を活かしたまちづくりについて紹介します。

「グリーンクリエイティブいなべ」って？

平成 26 年度、4 つの旧庁舎を統合し、新庁舎を建設することが決定しました。その際考えられたのが、「単なる市役所ではなく、観光や防災などまちづくりの拠点に」という観点です。

当時、国は地方の人口減少や経済停滞などの問題に対処するため、地方創生を打ち出しました。それは、いなべ市も地方として例外ではなく、魅力的なまちづくりによって人々の流れを創り出す必要がありました。

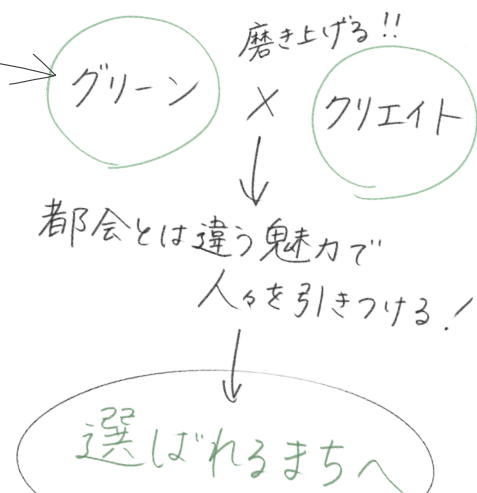
そこで平成 27 年から始まったのが、いなべ創

生事業「グリーンクリエイティブいなべ」です。新庁舎建設や東海環状自動車道の整備を好機と捉え、独自性を打ち出すことで「選ばれる自治体」を目指しました。

いなべの資源である「グリーン」を都会的に磨き上げ、若者や都市住民を魅了するようなモノ・コト・トキを創造（クリエイト）する。この理念の基、まちづくりプロジェクト「グリーンクリエイティブいなべ推進事業」は加速してきました。

いなべの資源

- 自然とアウトドア**
虫や魚とり、キャンプ、登山、自転車、豊かな自然、里山での暮らし など
- 農と食**
安心安全な野菜、育む水・土・気候、農業に挑戦する若者 など
- アート・クラフト**
芸術家、作り手 など



選ばれるまち、
選ぶ理由があるまちへ



庁舎一体型の商業施設（行政施設）は他市町の中でも珍しく、これまでに多くの自治体などが視察に訪れています。



▲ホームページ

▲Instagram

GCI

Green Creative Inabe



庁舎と一体型のにぎわいの森



情報発信ツールとして、「いなべ、暮らしを旅する。」の冊子やパンフレットを作成



市内業者やクリエイターとコラボ商品を開発

人口よりも主人公 夢を実現できるまちへ

（一社）GCI は、行政から切り離し、民間とより柔軟に連携できる組織として設立されました。「人口よりも主人公」という考え方の基、市民が主役として活躍できる場を創出し、地域の価値を高める「総合商社」的な役割を果たしています。

市の事業が始まり 10 年間で、新庁舎建設や新型コロナウイルスの影響、インフラ整備など、さまざまな変化を経験しました。その中で、チャレンジし続けて

きた私たちのまち「いなべ」は、今多くの人を惹きつけています。

近年は移住者や観光客が増加傾向にあります。今後重要なのは関係人口の拡大です。地域と多様に関わる人々を増やそうと考えています。新たなビジネスの創出や、まちづくりへの主体的な参加を重視し、夢を実現できる場としての「いなべ」を支えていきます。



（一社）GCI
一橋 俊介

“地域住民が主役となる場所” にぎわいの森！

まちづくりの拠点として作られた「にぎわいの森」。オープンから5年以上が経過した今、市主催のイベントだけでなく、市内外のさまざまな人に幅広く活用され、にぎわいを生んでいます。



いなムジカ



子どもから大人まで幅広い世代が集まるオープンマイク形式の音楽演奏コミュニティ。にぎわいの森ピクニックゾーンで春と秋に開催しています。

新緑や紅葉に囲まれた中で演奏するのは想像以上の気持ちよさがあり、参加者からも大変好評です。にぎわいの森は市内外から夫婦や家族連れでも訪れやすく、偶然居合わせた人にも観てもらえます。公共施設としてこういう場所があるというのは素晴らしい。世代間交流や音楽文化をつなぐ場、音楽でトライする場として、今後も続けていきたいです。

いなムジカ実行委員会
代表 加藤 潤一さん



次回開催は4月20日(日)。
今後の予定、エントリーは
ホームページから▶



weekend MARKET



土日祝日に開催しているマルシェ。手作りの作品やワークショップ、地域産品を使った飲食物など、出店者を随時募集しています。

マルシェ

にぎわいの森は、「どこにつながるんだろう？」と思わせられる曲線的なデザインがおしゃれで気に入っています。ここでの出店をきっかけに、今では県外への出店も増えました。ですが、ここほど融通が利き、気軽に出店できる場所はなかなかありません。犬連れの人も訪れやすく、こんな場所が自宅近くにできたことをうれしく思っています。

Ry*miyu
小林 友美さん



小林さんは現在、月に1回ほど犬用の服や雑貨などを販売しています。

体験・ワークショップ

B

森ノ休憩所



不定期開催のいなべの薪ストーブで焚く憩いの場。温かい飲み物を作って香りや音、味などを楽しむワークショップも同時開催しています。

のんびりと火を囲んでいると、初めて会った人とも自然に会話が弾みます。森ノ休憩所には、さまざまな人がふらりと立ち寄ってくれて、たまたま出会った人同士が和やかに会話を楽しんでいます。県外から、にぎわいの森を拠点に市内のあちこちを訪れている人の話もお聞きします。市民よりいなべ通の人もいますよ！買い物やランチのついでに立ち寄ったり、自分時間を過ごしたり…。そんな場を今後も提供したいです。

FIRE FLY
伊藤 理恵さん



石樽茶でおもてなし



3種類の石樽茶を飲み比べて種類を当てる利き茶ゲームや、水出し石樽茶の試飲など、石樽茶を味わえる機会を随時提供しています。

にぎわいの森内の inabe's Shop に商品を置いてもらっても、それだけではなかなか手に取ってもらえません。飲み比べや試食をしてもらうことで、お茶のおいしさやおもしろさ、お家でも入れ方次第でおいしく飲めるということを知ってもらいたいです。にぎわいの森では、他の用事でたまたま訪れた人にも直接顔を合わせて伝えられるので、石樽茶のPRとして今後も活用していきたいです。

イワキ製茶
岩城 美鶴さん



わんちゃんとお出かけ

C

にぎわいの森では、わんちゃんと散歩やグルメが楽しめます。無料でドッグランも開放中！



みっちゃん、ゆうくん、
マサムネくん（鈴鹿市）

にぎわいの森は、犬と一緒に食事までできて森の中の雰囲気や自然も味わえる、わんこと満喫できるスポットです。今、おしゃれスポットとして「いなべがアツイ！」と私たちの周りでも話題になっています！

キッズコーナー

D

シビックコア棟内のキッズコーナー。Instagramでは、置いてほしいものを毎月募集中！



ひーちゃん、あみさん
（菰野町）

にぎわいの森での買い物のついでに寄りました。室内なので天気が悪い日でも利用でき、無料で気軽に遊べてとても助かります。おもちゃの種類も多く、子どもが飽きずに遊べるのでありがたいです！



(一社) GCI 木田 好亮

にぎわいの森は、「自然と食が紡ぐ、いなべの豊かな暮らしの形」を体感できる場所です。昨年12月までに約210万人が来場し、約45%は市民の皆さんによる日常利用となっています。散歩やピクニック、食事や買い物、イベント参加をはじめ、マルシェ出店やイベント開催に挑戦できるなど、多彩な楽しみ方が魅力です。ぜひ気軽にリフレッシュしに来てください！

こんなこともやっている！

グリーンクリエイティブいなべの推進

にぎわいの森を中心とした事業の他にも、「グリーンクリエイティブいなべ推進事業」としての取り組みは多岐にわたります。中でも、現在市が進めている主な取り組みの一部を紹介します。

市は、にぎわい創出、地域回遊、プロモーションをこの事業の柱として進めるほか、市の資源を活用して市内で起業・創業できる人材を発掘しサポートする（生業促進）を行い、地域産業を創出しようと取り組んでいます。

また、令和2年度からは、インバウンド（訪日客）や企業、学校などをターゲットに事業を進めています。（一社）GCIと一緒に、欧州からの送客に強い旅行会社や地域活性化起業人と連携して、市内に誘客する旅行プランや体験コンテンツを開発しています。



いなべ市 商工観光課
小林 卓磨

観光誘客



1



2



3



4



5

1.2.3. 2023年6月と11月の計5日間で約200人のフランス人観光客が市内に訪れました。お茶の老舗「マル信緑香園」などを訪れ、いなべの人との交流や自然、食を満喫しました 4.5. 地域活性化起業人と連携して岐阜県の中学生の教育旅行受け入れを行っています。藤原町地区の皆さんと生徒がかかし作りを体験しました

（一社）GCI
加藤 生真

市と連携し、観光を通じたまちづくりを進めています。地域の自然や文化、暮らしを大切にしながら、市内の事業者や市民の皆さんと共ににぎわいを生み出し、人のつながりが広がる仕組みをつくっています。

近年は、欧州をはじめとするインバウンドや企業、学校との交流も進め、地域の魅力を再発見し、コンテンツ開発やガイド育成を行っています。暮らしの中にある価値を生かし、誇れるまちづくりと持続可能な観光の実現を地域の皆さんと共に進めていきます。

カラフルにんじんの魅力を探る！ 1/26
収穫体験とにんじんジュース作り



ゆうき農園

森 友喜さん 友菜さん



2年前からやってみたかったジュース作り体験。きっかけを探っていたところ、「いなべ、暮らしを旅する。」の企画でお声がけいただき、すぐに実現できました。市側が企画や告知などをしてくれ、終了後にはアンケートによる参加者の声ももらったので、ありがたかったです。当日は、生のにんじんが苦手な子どもがぶがぶとジュースを飲んでくれて、本当にやってよかった。今後も市内外の人に地元の暮らしの良さを知ってもらえるよう、いろんな体験を実施できたらと思います。

1. 収穫したにんじんをジュースサーにかける 2. にんじんの収穫から体験！



1



2

フレイトレシピに学ぶ 2/24
甘夏の酵素シロップ作り



フレイトレシピ

山田 晋吾さん 舞子さん



私たちは、地域に生えている木からかんきつを収穫し、シロップドリンクにして販売しています。地域の人に柑橘を取らせてもらい、こちらは剪定などの管理をする。そういった相互的な関わりによって私たちの暮らしは成り立っています。今回の企画は、ただ体験するだけでなく、里山で生業を営む“私たちの暮らし”を参加者の皆さんに実感してほしい、そんな思いで実現しました。自分たちだけでイベントをするのは大変ですが、市からのサポートがあると、活動の幅が広がります。今後も一緒に考え、横並びでやっていけたらと思います。

1. 大量の柑橘をむく舞子さん 2. イベントの打ち合わせをする山田さん夫婦



1



2

地域おこし協力隊
八木 萌子



体験コンテンツを企画・運営しています。ただ体験してもらうだけでなく、それぞれの事業者の魅力がより深く伝わるよう、各事業者と一緒に考え、サポートしています。

市内には魅力的な事業者がたくさんいます。体験を通して、参加者がそれぞれの事業者の「ファン」になってくれたらうれしいです。今後もいろんな出会いが生まれるよう、さまざまな体験を開催していきます。

いなべ、暮らしを旅する。

市の魅力を深く体感できる観光サイトで、地域に根ざした暮らしに触れる旅を提案。いなべを紹介するWeb マガジンの掲載、自然・食・文化を楽しめる体験を紹介しています。ぜひチェックしてください。

ホームページ▶



Instagram▶



いなべ市には、市外の人を魅了する資源がたくさんあります。その魅力を私たち自身が知ることが、選ばれるまちにつながっていくのではないのでしょうか。